

○那珂川市立小中学校の管理規則〔一部抜粋〕

(平成 18 年 3 月 31 日教委規則第 2 号)

目次

- 第 1 章 総則(第 1 条)
- 第 2 章 学年、学期及び休業日(第 2 条・第 3 条)
- 第 3 章 教育課程及び教育活動等(第 4 条―第 13 条)
- 第 4 章 教材の取扱い(第 14 条―第 17 条)
- 第 5 章 組織等(第 18 条―第 29 条)
- 第 6 章 学校予算(第 30 条―第 35 条)
- 第 7 章 施設及び設備等(第 36 条―第 40 条)
- 第 8 章 補則(第 41 条・第 42 条)
- 附則

那珂川町立小中学校の管理規則（平成 13 年教委規則第 3 号）の全部を改正する。

第 2 章 学年、学期及び休業日

(休業日等)

第 3 条 学校の休業日は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日
  - (2) 日曜日及び土曜日
  - (3) 学年始休業日 4 月 1 日から 4 月 7 日までの間において校長が定める期間
  - (4) 夏季休業日 7 月 21 日から 8 月 24 日まで
  - (5) 秋季休業日 10 月 2 日若しくは 10 月 3 日の土曜日を初日とする連続した 4 日間又は 10 月 2 日から 10 月 6 日までの木曜日を初日とする連続した 4 日間（2 学期制の場合に限る。）
  - (6) 冬季休業日 12 月 25 日から 1 月 7 日まで
  - (7) 学年末休業日 3 月 25 日から 3 月 31 日まで
  - (8) 校長が、学校運営上又は教育上特に必要と認めた日又は期間
- 2 校長は、学校運営上又は教育上の必要がある場合は、前項第 1 号から第 7 号までの規定にかかわらず、あらかじめ、教育委員会の承認により休業日を変更し、又は教育委員会への届け出により休業日に児童及び生徒（学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号。以下「法」という。）第 18 条に規定する「学齢児童」及び法第 18 条に規定する「学齢生徒」をいう。以下「児童生徒」という。）を登校させることができる。この場合において、校長は、休業日を別の日に振り替えることができる。
- 3 校長は、第 1 項第 8 号に規定する休業日については、あらかじめその理由及び期間を教育委員会に届け出なければならない。

- 4 校長は、第1項の規定にかかわらず、教育委員会の承認により、同項第1号又は第2号に掲げる日を休業日としないことができる。
- 5 校長は、非常変災その他急迫の事情（以下「非常変災等」という。）があるときは、臨時に授業を行わないことができる。この場合において校長は、次の各号に掲げる事項を直ちに教育委員会に報告しなければならない。
  - (1) 授業を行わない期間
  - (2) 非常変災等の概要
  - (3) その他校長が必要と認める事項